

議案第 9 号

平塚市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則について

平塚市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則について、別紙のとおり定めるものとする。

令和 7 年 5 月 3 0 日提出

平塚市教育委員会

教育長 吉 野 雅 裕

平塚市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する
条例施行規則の一部を改正する規則（案）

平塚市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則（昭和43年教育委員会規則第2号）の一部を次のように改正する。

第1条の2中「懲役、禁錮」を「拘禁刑」に改める。

附 則

- 1 この規則は、令和7年6月1日から施行する。
- 2 この規則の施行前にした行為に対する懲役、禁錮又は刑法等の一部を改正する法律（令和4年法律第67号）第2条の規定による改正前の刑法（明治40年法律第45号）第16条に規定する拘留の刑の執行のため刑事施設に拘置されている場合、この規則による改正後の平塚市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則第1条の2の規定の適用については、拘禁刑又は拘留の刑の執行のため刑事施設に拘置されているものとみなす。

平塚市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部改正に伴う新旧対照表

改正部分

現 行	改 正 案	改正要旨
<p>(休業補償を行わない場合)</p> <p>第1条の2 条例第6条ただし書の規則で定める場合は、<u>懲役、禁錮</u>若しくは拘留の刑の執行のため若しくは死刑の言渡しを受けて刑事施設に拘留されている場合、労役場留置の言渡しを受けて労役場に留置されている場合又は法廷等の秩序維持に関する法律(昭和27年法律第286号)第2条の規定による監置の裁判の執行のため監置場に留置されている場合とする。</p>	<p>(休業補償を行わない場合)</p> <p>第1条の2 条例第6条ただし書の規則で定める場合は、<u>拘禁刑</u>若しくは拘留の刑の執行のため若しくは死刑の言渡しを受けて刑事施設に拘留されている場合、労役場留置の言渡しを受けて労役場に留置されている場合又は法廷等の秩序維持に関する法律(昭和27年法律第286号)第2条の規定による監置の裁判の執行のため監置場に留置されている場合とする。</p>	<p>刑法等の一部を改正する法律の施行により懲役及び禁錮の刑に代えて拘禁刑が創設されたこと等に伴い、規定を整備する。</p>